

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2013年3月定例会議議事録

◎ 開催期日：2013年2月14日（木） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	星寄	浩一
☆DACs	セントラルスポーツ株式会社	岩本	真司
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
☆オブザーバー	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久
	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨
	筑波大元教授	吉田	章

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① インターナショナル フリッパー選手権大会について

- DACs岩本氏より、第5回サイパン インターナショナル フリッパー選手権大会にCカード協議会としての協力依頼および、Cカード協議会加盟10社に対し、実行委員としての協力依頼があった。
- これに対し、Cカード協議会は協力依頼を承諾し、定例会出席のDACsを除く6社（BSAC、JP、JUDF、PADI、SSI、STARS）は、実行委員になる事を承諾した。

② Cカード協議会新規事業の提案

- 吉田元教授より、大学マーケットの開拓案（提案資料別紙）が提案された。
- 同提案に対し、各社一旦持ち帰り、各自検討することになり、その上で今後継続的に協議していくことになった。

③ レジャーダイビング産業協会公益法人化について

- レジャーダイビング産業協会藤川理事より、同協会の社団法人化について説明があり、Cカード協議会に対し、同法人の傘下に入り、業界内指導機関の部会として協力して欲しいとの依頼があった。
- これに対し、過去のレジャーダイビング産業協会の動向に対する疑義が払拭されていない現状、社団法人化する意義と継続性にも疑義が残るとの意見が上げられた。
- 反面、藤川理事の改革意識の強さが評価され、当面同協会の動向を静観することになった。

- ④ ダイビング高圧ガス安全協会、クリーンエア・プログラム普及啓蒙委員会第一回会合の報告
- 事務局宗田より、クリーンエア・プログラム普及啓蒙委員会第一回会合の報告があった。
 - 報告では、C協としてクリーンエアの啓蒙は協力するが、年4回の空気純度検査等の現場ダイビングショップの負担になり得る計画は止める様再提案をしたところ、同普及啓蒙委員会は承諾したとのことであった。

以上